

過去最低の402万トン

23年度製造量 山形以外5県減少

アス合材協東北

日本アスファルト合材協会
東北連合会（野口秀典会長）
は、会員企業が保有する12

1工場の2023年度アスファルト合材製造数量をまとめた。新規合材は前年度比8・0%減の113万5000トン、再生合材は12・4%減の28万7000トン、合計は11・2%減の402万3000トンとなり、1980年の統計開始以来過去最低数量となった。

5%減、宮城は13・1%減、秋田は12・8%減、福島は15・3%減となっている。

山形は、最上・村山地区が減少したものの、置賜地区が梨郷道路の開通などで4割近く増加し、全体を引き上げた。

青森は東青地区がNEXCO東日本の修繕工事を受けて2割近く増加した。上・下北地区が約3割、三八・津軽地区は約1割それぞれ減少した。岩手は県央・県北地区が微増となったが、花北・胆磐地区が微減、宮古・釜石地区は約3割減と厳しい状況が続く。

宮城は東北・仙台地区が約

1割、石巻・気仙沼地区は約3割それぞれ減少した。秋田も鹿角・北秋田・山本・秋田

・由利地区が約1割、仙北・平鹿・雄勝地区は約2割減少と、県全域で落ち込んだ。

福島は会津地区が県と国の堤防舗装工事の反動減で約4割減り、県北・県中地区は約2割減少した。浜通り地区は

2023年度アスファルト合材製造数量

	合材	23年4月-24年3月
青森	新規	136 (△27.3)
	再生	362 (△7.8)
	小計	498 (△14.1)
岩手	新規	162 (△14.9)
	再生	357 (△22.5)
	小計	519 (△5.5)
宮城	新規	296 (△10.8)
	再生	687 (△14.1)
	小計	983 (△13.1)
秋田	新規	76 (△26.0)
	再生	348 (△9.3)
	小計	423 (△12.8)
山形	新規	157 (△26.2)
	再生	378 (△6.6)
	小計	535 (△1.1)
福島	新規	309 (△11.1)
	再生	756 (△16.9)
	小計	1,065 (△15.3)
東北全体	新規	1,135 (△8.0)
	再生	2,887 (△12.4)
	合計	4,023 (△11.2)

単位：千トン、カッコ内は前年度比（%）

前年度並みだった。

同連合会は「資材や運搬費などの経費の増加、電力料金の高騰により各プラント経営は悪化しており、さらなる合材単価への転嫁が必要な状態にある。昨年度は合材工場の統廃合で2工場が閉所した。工場の統廃合や廃業は、地域の災害対応力にも影響する」と懸念される「トウコン」。

